

# 回覧

広川町

<稲むらの火の館>

やかただけより

第44号

H25・11月

年に一度は

館に行こう！

## ○今やかたでは・・

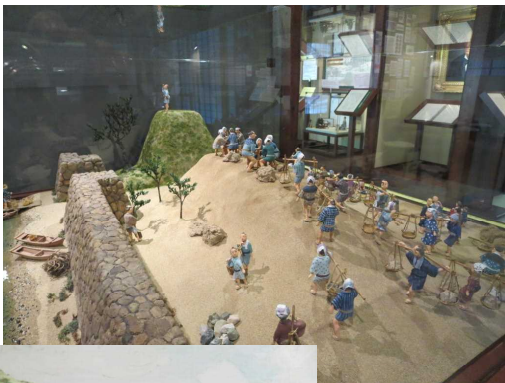
今月号は、記念館に展示されている築堤風景を紹介します。この築堤を通して、梧陵さんは何を目指したのでしょうか。

実は、この築堤には2つの大きな目的がありました。

1. 津波防災
2. 失業対策

いわゆる現在の「復興」と「防災」を同時に実施したというところに**梧陵の偉業と功績**があるのです。

築堤風景  
全景



土運び

こうして広村の人々に、大人も子供も堤防づくりに参加して、お互いに助け合い、励まし合いながら、

「この堤防は自分



梧陵さんが指示しています

たちの手で作り上げるのだ」という**自立の心**が芽生えてゆくのです。



炊き出し



セーノ！よいしょ！



子どもも働きます

このジオラマは、一人ずつ顔が違います。そして、子供は子供なりにそれぞれの役割を受け持ち働いています。そして、海岸では魚が水揚げされています。こういった村人のがんばっている姿を感じ取って下さい。

## ○お客様の声コーナー

\* 講話を聞いていて涙が出てきました。なかなか出来ることではないですけど、見習わなくてはと思いました。 (男性)

裏もご覧下さい。

<p>2面 広川町</p>	<p>&lt;稲むらの火の館&gt; <b>やかただより</b></p>	<p>第44号 H25・11月</p>	<p>いざという時 あなたは！</p>
<p><b>&lt; 梧陵シリーズ4 &gt;</b> <b>&lt; 儀兵衛の章② (34歳～38歳) &gt;</b> ～「稲むらの火」被災民救済の決意～ * 「稲むらの火」と村人自身による復興 復興時における広村救済措置では、仮小屋建設・架橋等の地域活性化をもたらし、大堤防築堤においては、広村の子々孫々の安全を保障したばかりか、被災した村人たちの就労および租税免除をも兼ねる優れた津波防災事業となった。 これら梧陵の復興策により、広村は奇跡の復興を成し遂げたのです。 こうした経世済民の活動も、梧陵にとっては単なる善行や機転などと言う次元ではなく、その全人格と信念からなした、必然の行動と言うべきでしょう。</p> <p><b>濱口梧陵の功績</b> 応急編（地震津波時の救命救援活動）</p> <p>①稲むらの火 「海岸付近で地震を感じた時は津波に注意し高台に避難する。」</p> <p>②食糧確保 ・自分の家の米と隣村から米を借り、被災者に配る。 (現在の被災時に助け合いの精神で行われる「炊き出し」です。)</p> <p><b>梧陵の功績2（防災対策と失業対策）</b> ＜復旧編＞</p> <p>①復興住宅・交通網の整備 ・道路や橋の修復工事 ・村人の家屋を建てる（無料／現在の公的援助）</p> <p>②失業対策 大堤防建設（労賃の日払い）</p> <p>③義援金を募る ・資産家に寄付の呼びかけ</p> <p>④塩害のあった土地の活用</p>		<p>・津波による塩害で年貢の負担だけが残った田畑を堤防の敷地にすることで、課税対象から外すよう交渉する。</p> <p><b>【11月の主な災害等】</b></p> <p>11 / 1 茂尻炭鉱ガス爆発（北海道赤平） (S 30年) 死者 60</p> <p>11 / 2 有馬温泉池之坊満月城火災（S 43年） 死者 30</p> <p>11 / 6 北陸トンネル内列車火災（S47年）死者 30</p> <p>11 / 8 桜島・安永大噴火（1779年）死者 150余</p> <p>11 / 9 三井三池炭鉱炭じん爆発事故（S38年） 死者 458</p> <p>11 / 11 安政江戸地震（1855年）M6.9 死者 4,800 東京直下型地震</p> <p>11 / 21 伊豆大島噴火（S61年）全島民島外避難</p> <p>11 / 26 北伊豆地震（S 5年）M7.3 死者 272</p> <p>11 / 29 熊本市大洋デパート火災（S48年） 死者 103</p> <p>過去の「その月の主な災害等」を防災ダイアリー【今日は何の日】から抜粋</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やかただよりがインターネットで見ることができます。 稲むらの火の館で検索してください。 そして、ブログの中に、やかただより11月号がありますので、開いてください。 カラーで見ることができますよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;稲むらの火の館の紹介&gt; 濱口梧陵記念館／津波防災教育センター 〒643-0071 住所 広川町広671 TEL : 0737-64-1760 / FAX : 0737-64-1761 <a href="http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/">http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/</a> *開館時間：午前10時～午後5時（受付終了4時） *休館日：月曜日・火曜日（祝日開館） 年末年始（12/29～1/4） *記念館だけの入場は無料です。</p> </div>	